

KRC WEB REPORT

徒然想

きっと、一年中で最も多種多様な花が咲く5月。山々の緑も濃さを増して、気持ちが良い季節です。しかし、同時に雑草の勢いもどんどん激しさを増してくる頃です。弊社の広島本社では、年に数回ほど社屋周辺の草刈りを行います。梅雨前に草刈りをしておかなければ盆前には大変なことになりますのでこの時季から実施しています。花壇で咲く花がその様子をいつも見守ってくれております。社屋周辺も心身もリフレッシュして、皆様のお役に立てる良い仕事をしていきたいと思う次第です。

TECHNICAL TOPICS 今月の技術情報

第13回3次元計測フォーラム「SPAR2017J」と「UAVレーザ共同体」のご案内

2017年6月14,15の2日間、「ハード、ソフトからユースウェア競争の時代へ」と題し、川崎市産業振興会館において、第13回3次元計測フォーラム「SPAR2017J」が開催されます。恒例となったこのフォーラムは、3次元計測に関わる関係者が毎回約700人ほど集まり、最新技術を展示して情報交換する場です。対象領域は、プラント、建築、文化財それにi-Construction & UAV(ライダー)です。弊社が司会・講演を担当するUAV分野では、国交省が「UAVレーザを用いた出来形管理要領(土工編)(案)」を公表するなど枚挙に暇のない状況です。それはUAVレーザ計測が、従来の写真測量では地表データの取得が困難であった森林域や、人が立ち入っての基準点設置が困難であった急斜面地や災害現場の計測が可能なることによるものです。このような背景から計測の企画から産業用UAVの運航、高度なデータ解析まで、互いが補完できるメンバー11社が「安全で安心な操縦技術と多様で高品質な成果を提供するプロ集団-UAVレーザ共同体(代表 中央航業 小池盛文氏)」を設立し事業を開始しました。

また現在携帯電話等の移動通信システムは、電波法により上空では利用できないことから、弊社では、IoTを活用することでUAV内で解析・処理・軽量化された色付き点群を、無線LAN経由で即地上のPCで確認、また遠隔地ではそのデータを用いて検討することも可能な「UAVレーザのIoT化によるリアルタイム空間情報取得システム」(28年度「革新的ものづくり」採択)の講演とパネル展示で紹介いたします。この機会にぜひお越しください。

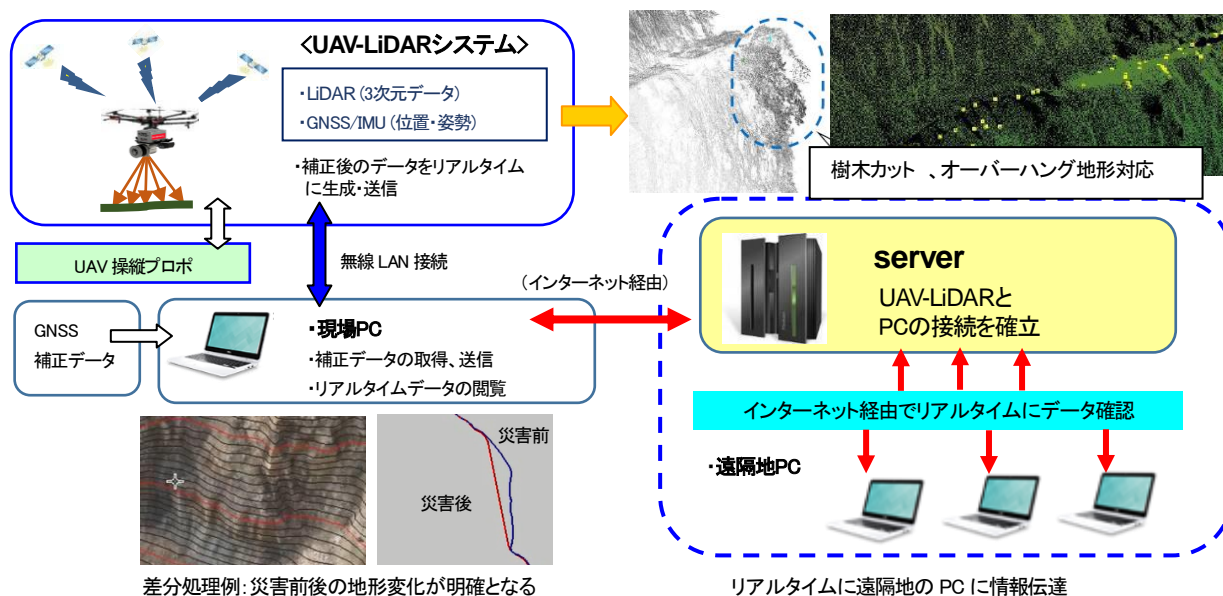


図1 IoTデバイスを用いたリアルタイム地理空間情報取得の仕組み

●参加ご希望の方は、下記のHPより会議チラシを出力してご参加ください。(会議:有料、展示会:無料)

SPAR2017J HP:<http://sparj.com/> チラシ(出力用):<http://sparj.com/SparJ/Spar2017J/chirasi1.pdf>

プログラム:<http://sparj.com/SparJ/Spar2017J/program.pdf>

(株)計測リサーチコンサルタントへのお問い合わせ先: krc@krcnet.co.jp HP: <http://www.krcnet.co.jp>